

内科学 B

責任者名：米原 啓之

学期：前期

対象学年：6年

授業形式等：講義

◆担当教員

米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)

武井 正美(隣接医学 兼任講師)

小川 克彦(隣接医学 兼任講師)

小川 眞広(隣接医学 兼任講師)

辻野 一郎(隣接医学 兼任講師)

丸山 高史(隣接医学 兼任講師)

石原 正樹(隣接医学 助教)

藤城 緑(隣接医学 兼任講師)

今村 佳樹(口腔診断学 教授)

外木 守雄(口腔外科学Ⅰ 教授)

米永 一理(口腔外科学Ⅱ 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

歯科診療をする上で、歯科学知識のみでは歯科診療が行えない場合がある。特に、歯科診療が全身に及ぼす影響、また全身疾患の一部として歯科領域における種々の徴候など、全身的な医学知識が必要となる。本科目においては、歯科医にとって必要な内科的知識を学び、理解する。

◆到達目標 (SBOs)

歯科診療を行うために必要な内科的な知識を身につけ歯科診療を行うことができる。

◆評価方法

平常・定期試験 (100%) により評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
米原 啓之	月曜日～金曜日 17:00～18:00 口腔外科Ⅱ・臨床医学講座教授室	yonehara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

授業は教科書、PC、黒板を用いて行う。平常テストを行う場合があり、この平常テスト後にフィードバックを行う。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
----	-----	-----	------	-----

教科書	隣接医学 I (PDF ファイル配付)	日本大学歯学部編	日本大学歯学部	令和 3 年
参考書	指定しない。			

◆DP・CP

DP 4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

DP 5

コンピテンス：挑戦力

コンピテンシー：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

DP 6

コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において、他者との円滑な意思の疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

DP 7

コンピテンス：リーダーシップ・協働力

コンピテンシー：患者を中心としたチーム医療において、責任ある医療を実践するためのリーダーシップと協働力を養うことができる。

CP 3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

CP 4

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

CP 7

歯科医師の責務を自覚して、責任あるリーダーシップを発揮し、患者を中心としたチーム医療における適切なコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。

◆準備学習時間

各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

隣接医学 II, III

口腔外科手術時の患者管理

口腔診断学・有病者歯科学

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.7	6	1. 消化器疾患 1 肝疾患と画像診断・治療	・肝疾患と画像診断の方法・および治療について学び説明できる。	小川 眞広	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
2		4.7	7	2. 消化器疾患 2 胆道・膵疾患と画像診断	・胆道・膵疾患と画像診断について学び説明できる。	小川 眞広	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
3		4.14	6	3. 基準検査法と読み方 胸部単純写真とコンピュータ断層撮影 (CT)	・単純写真と CT の撮影原理を理解し、その適応を説明できる。 ・胸部の X 線解剖学の基本とレントゲンサインを理解し、読影することができる。	辻野 一郎	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
4		4.14	7	4. 呼吸器疾患 呼吸機能と呼吸器疾患の症候 呼吸器疾患及び結核 呼吸器疾患と歯科診療	・呼吸機能と血液ガスの理解に必要な基本的事項を説明できる。 ・肺気量分画を理解し、呼吸障害を呈する病態を説明できる。 ・血液ガスの正常値とその異常をきたす原因を説明できる。 ・呼吸器の構造と機能を理解し、その症候の概要を説明できる。 ・歯科診療と関係のある呼吸器疾患の診断・治療の概要を説明できる。	辻野 一郎	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
5		4.21	6	5. 代謝性疾患 1 糖尿病の症候・診断・治療	・糖尿病の定義、診断基準、成因分類を学び説明できる。 ・糖尿病の病態生理の概要を学び説明できる。 ・糖尿病の症候、治療法の概要を学び説明できる。	藤城 緑	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
6		4.21	7	6. 代謝性疾患 2 糖尿病の合併症と歯科診療 (リスクと対処)	・糖尿病の合併症 (網膜症、腎症、神経障害、動脈硬化症など) の症候、診断、治療の概要を学び説明できる。 ・糖尿病およびその合併症を有する患者に対する歯科診療上の留意点の概要を学び説明できる。	藤城 緑	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

7		4.28	6	7. 内分泌疾患 甲状腺、副甲状腺疾患と歯科診療	<ul style="list-style-type: none"> ・甲状腺、副甲状腺疾患の症候・治療法の概要を学び、歯科診療に役立てることができる。 	丸山 高史	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
8		5.12	6	8. 膠原病1 リウマチ、SLE、強皮症、皮膚筋炎、Sjögren syndrome などの病態生理、診断	<ul style="list-style-type: none"> ・膠原病の概念を説明できる。 ・代表的な膠原病を説明できる。 ・膠原病の症候を説明できる。 	武井 正美	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
9		5.12	7	9. 膠原病2 リウマチ、SLE、強皮症、皮膚筋炎、Sjögren syndrome などの治療	<ul style="list-style-type: none"> ・膠原病治療の概略を説明できる。 	武井 正美	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
10		5.19	6	10. 神経内科疾患・脳血管障害	<ul style="list-style-type: none"> ・脳血管障害の種類を説明できる。 ・脳血管障害の発症機序を説明できる。 ・抗血栓療法の種類と作用機序について説明できる。 ・脳血管障害の歯科治療時の留意点を説明できる。 	小川 克彦	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
11		5.26	6	11. 内科疾患と歯科診療1 1)脳血管疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科診療時に遭遇する脳血管疾患について説明できる。 ・脳血管疾患患者の歯科診療における注意点を説明できる。 ・抗凝固療法患者の歯科診療時の対応法について説明できる。 	今村 佳樹	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
12		5.26	7	12. 内科疾患と歯科診療2 2)循環器疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・循環器患者の歯科診療時の注意点を説明できる。 ・細菌性心内膜炎に歯科診療が与える影響について説明できる。 ・深部静脈血栓症の病態について説明できる。 ・深部静脈血栓症の予防処置および発症時の対応について説明できる。 	米永 一理 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

13		6.2	6	13. 内科疾患と歯科診療3 3)呼吸器疾患	<ul style="list-style-type: none"> 慢性呼吸器疾患の種類と臨床症状を説明できる。 誤嚥性肺炎について症状と治療法を説明できる。 呼吸不全について病態を説明できる。 呼吸器疾患患者歯科治療時の体位、薬剤、歯科材料について配慮することができる。 歯科治療時に生じる合併症について説明できる。 	今村 佳樹	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
14		6.2	7	14. 内科疾患と歯科診療4 4)糖尿病 5)AIDS	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病患者の歯科診療時の注意点を説明できる。 糖尿病合併症について説明できる。 AIDS の病態について説明できる。 AIDS 患者の歯科診療時の注意点を説明できる。 	外木 守雄	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
15		6.10	5	15. 感染性疾患	<ul style="list-style-type: none"> 微生物と感染症の概念を説明することができる。 院内感染対策について理解し、診療に役立てることができる。 代表的な感染症を学び説明できる。 	石原 正樹	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

